



ひこうきぐも

特定非営利活動法人 色 就労支援センターそらいろ
(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

Vol.05
2019.10

Tさんを採用して思うこと

監事 久我 康司

こんにちは。監事の久我です。私は、19年間税務署に勤務し退職後少し回り道をしましたが、平成20年8月より現在の税理士法人京都ビジコンにお世話になり、社員税理士として、働いています。そらいろさんの監事となったのは、前任の監事を弊社の職員がさせていただいたことがご縁で、昨年職員の退職に伴い私が後任として監事を務めさせていただいております。

弊社には、そらいろさんからご紹介いただいて、Tさんに就労いただいております。仕事内容としては、初期のころは、総務課のこまごまとした仕事の手伝い及び各担当者の会計入力の補助的な仕事をしてもらっていました。弊社としても就労移行支援制度に基づいて人を受け入れたことがなかったため、色々とそらいろさんに相談しながら手探りの状態で仕事をしてもらっていました。ただ、元々簿記の2級の資格を持っておられて、理解力もあるため、現在では事務所業務の一部を完全におまかせし、3件ほど担当先も受け持ってもらっています。

採用して、一番感じたのは、日本ではまだまだ一般的といわれるコース（いわゆる高校・大学を卒業し就職）を外れるとその人の能力とおりの就労は難しいのが現実なのだということです。もし、Tさんが、世間でいわれているようなコースをたどられていたら、人間的にも、能力的にももっと十分な就労の機会に恵まれていたと思います。

前例がないから採用は難しいと考えられる企業も多いと思いますが、採用側にとっても、全く同様なコースでの処遇は難しいとしても、一度チャンスを与えてチャレンジしてもらうのは、今求められている、多様性に対する受容力をつけるうえで非常に意味があることだと思います。

Tさんの場合も、全てが順風満帆で現在に至っているのではなく、一度は弊社を退社され他の仕事に就かれておられたこともありますし、もっと本格的に担当者数を増やそうとして、うまくいかなかったこともあります。ただ、弊社としては一回チャレンジしてだめでも、また力を蓄えて何度でもチャレンジしてもらってかまわないようにしています。一度だけのチャンスしかなかったら、本人も気負いすぎて本来の力が発揮できないし、仕事というものは、企業であるからには1年単位で評価も当然ですが、本来的には就労期間全期間で評価すべきと考えているからです。

現在、働くということについて世間では少しネガティブな報道が多いですが、私自身の経験からも働くことにより、学び身につくことは想像以上にたくさんあります。就労側も採用側も、まずは、チャレンジしてみることが大事だと思います。



◆profile◆

税理士
くが やすし
久我 康司

税理士法人 京都ビジコン

就職おめでとう!



今回は3名の方に就職され働いてる状況についての感想文を書いていただきました。みなさんそれぞれの場所で頑張っておられる姿はメンバーさんや私たちを勇気づけてくれます。

『ぼちぼちやっています。』

有料老人ホームの清掃業務に就職しました。

就職してからの気持ちを一言で表すなら毎日葛藤しながら何とか踏ん張ってるって感じです。仕事をするって事生きるといふ事はこんなに難しいことなんだと日々感じてます。何と葛藤しているかという、仕事をやめたいなあって気持ちと、ここで辞めたら勿体無いという気持ちとです。最初の1ヶ月は特に不安との戦いで嘔吐しながら仕事に行ったという日もありました。仕事内容自体はそんなに難しいものではないんですけど、職場の人間関係や、高齢者との関わりをどうして行こうか、この先の将来の事など毎日毎日悩みながら仕事をしています。

仕事を始める前は介護士も目指してみようかなという気持ちもあったのですが、実際に現場で働いてる人を見て、これは自分には向いて無いなあって、でもこの先ずっと清掃だけで良いのか正直自分の中で答えは出ていません。ちょっと遠い職場にも苦労して、時間を伸ばすならもう少し近い所で働きたいなあってのがちょっと本音だったりします。

最後になりますが就職してから、自分にご褒美をあげてないの、何かしら楽しい事が出来たらいいなあって思ってます。働き始めて良かったと思う事は、1番に思いついたのが人から感謝される様になったことです。人からありがとうと言ってもらえた時は働く喜びを感じる瞬間です。後は少なからずお金がもらえる様になった事で自分の自由に使えるお金が増えた事、ご飯が美味しく食べれる様になった事、働く事で生活のリズムが生まれたことが挙げられます。



縦海 さん

有料老人ホームの清掃業務をされています。

K さん

金融機関で事務補助のお仕事をされています。

『どっこい今日も仕事してます』

私は今、金融機関で事務補助の仕事をしています。

今この仕事を続けてみて感じたことは、様々な知識を吸収していくことが大事だと感じたことです。最初は職場のことや取り扱う物に関して何の知識もなかったため、ひたすら金融関係の知識に関する本を読み、小切手など実際に扱う物をじっくりチェックする中で必要なことを学ぶなど3か月経った今でも悩んだりしながら取り組んでいます。

実際に働いてみて、学生時代の仲間や家族に対して後ろめたさを感じなくなったことが嬉しく、仕事したから得られる考え方や見方も多く得られたことは大きいと感じています。今後の目標としては、もう少し冷静に物事を見つめられるようになることと仕事をする上で出来るだけ密にコミュニケーションをとれるようになることです。今後の楽しみとしては、自分が好きなイベントに参加するための遠征旅行や国内を中心に行ったことのない場所へ旅をしてその場所を思う存分楽しみたいです。

『就職と私』

そらいろの期限が差し迫る中、担当スタッフさんに病院の食器洗浄・下膳のお仕事を薦めてもらい、まずは実習に10日間行く事となりました。話し合いで、初めは2時間から、最終4時間に実習時間を組んでもらいました。実習中は、スタッフさんに見守りや作業工程の写真撮影、面談でサポートしてもらい心強かったです。その後、正式採用となり2ヶ月が経とうとしています。決まった時は、本当に嬉しかったです。就職後も、面談で交わす言葉が安心や力になって、ちょっと不安になる時もあります



が、ぼちぼちやれていると思います。就職して変わった事は、社会の一員であるという感覚が少し持てるようになった事で、それは今後の自分を支えてくれるのではと思っています。メリハリのある生活を意識して、また一歩ずつ、自分の願いや目標を叶えられるよう頑張っていきたいと思っています。

Yさん

病院の食器洗浄・下膳のお仕事をされています。

七夕まつり

京都三条会商店街の七夕夜市に参加させていただきました。
今回は、そらいろ所内で紙芝居をしました。
紙芝居を見る子どもたちの真剣な眼差しに、やって良かったとそらいろ一同、嬉しい限りです。とても楽しい時間で、来年の構想を早くも想像中です。

『七夕夜市はそらいろにお越しを』 JORDANさん

Q 七夕夜市ではどんなことをしましたか？

A お客さんへの宣伝・呼び込みと、そらいろへの案内をしました。

Q やる前はどんな気持ちでしたか？

A 声をしっかり出して聞こえるように言うこと、あとは「数打ちゃ当たる」の気持ちでやろうと思っていました。

Q やってみて、どうでしたか？

A アーケードは人がたくさんで暑かったですが、大きい声を出して気持ちよく、ストレスもなかったです。たくさん呼び込めたと思っています。お客さんが来てくれて、ものすごく嬉しかったです。休憩中もお喋りが楽しくて、体力的にも思ったより疲れませんでした。呼び込みの言葉も工夫してみたり、外国人観光客にも宣伝しました。夢中になれるっていいなあと思いました。
宣伝は3人で分担して、協力して行いました。それぞれが自分の役目をしっかりやって、協力し合っていました。一人では出来なかったと思います。3人居ることの心強さと協力し合えたから出来ました。今後の就職について話したときに、「あまり人と関わらず、一人で集中出来る仕事を選ぶのが良いのでは？」とアドバイスを受けることがあります。自分では七夕夜市でやったような接客みたいな仕事の方が好きだなと思います。やったことないことや、障がいがあって難しいのではと思っていたことでも、やってみたら出来ることや自分で気付いていなかったことに気付けるんだと実感しました。ほんのささいなことでも、色んなことに気付けるんですね。
ここででの経験を活かして、就職したいです。



カラオケ

恒例の全体レクレーション、今回はカラオケです。
シャウトあり、ダンスあり、懐メロあり、照れありの3時間でした。

『カラオケに参加して』 Yさん

そらいろは、いろいろなイベントがあります。まだ入って2ヶ月も経っていない頃、カラオケのレクレーションがありました。入って間もない頃だったので、正直、参加するかどうか迷っていて不安でした。その時、スタッフさんから背中を押して頂き、おすおすとしながら参加しました。

私は歌を聴くことや歌うことが好きで、初めから参加してみたいなという気持ちはありました。参加してみると、いろんな年代のメンバーさんがいるので、歌う曲もいろいろで、「えっ、このメンバーさんがこの曲を歌うの？(笑)」といい意味でのギャップがあって、メンバーさんやスタッフさんのいつもとは違う一面が見れて、楽しかったです。何より、メンバーさんやスタッフさんの、のりがよくて、歌っていても楽しい雰囲気落ちなかつたので、ノリノリの気分で歌うことができました。

そらいろでは、よく全体レクレーションやOBさんとの会(望月会)があるのですが、参加することで、メンバーさんとの距離が近くなるし、気力も体力もついてくると思います。

私は5月からプログラムが増えて、まだプログラムを受けることで精一杯ですが、体が慣れてきたら、また参加していきたいと思っています。



そらいろ活動報告・プログラム

問題解決技能 トレーニング

職場や生活の場面で困った事が起きた時、「どうすれば良いのか考えても煮詰まって、前に進めない」・・・そんな時、仲間から色々なアイデアを出してもらい「柔らか頭」になって問題の解決に取り組めるように心を柔軟にするトレーニングをしています。今回は参加者のK.Aさんから、感想を戴きました。

『はれるや』 KAさん

自身の中にある問題を、皆さんと話し合うことで少しでも楽になれるようにすることだと思っています。些細な問題でも、皆さん快く解決策を出してくださるので助かっています。

皆さん自分では考えもつかないような案を出してくださるので、自分の考えの幅が広がり、こんな考えがあったんだと、いつも感心させられます。また、じぶんはあまり悩まない性格なのですが皆さん色々な悩みを持っておられ、自分と同じ悩み事や考えを聞くと、自分は一人じゃないんだと安心もします。プログラムの内容として楽しく皆さんとお話出来るので、授業が終わった後も仲良く話が出来るとも魅力の一つだと思います。

そらいろ活動報告・プログラム

セミナー OBさんの体験談を 聴こう

今回のセミナーは、5年前に就職されたOBのY.H.さんに、そらいろでの就職活動やお仕事で経験されたことを、現役のメンバーさんにお話戴きました。Y.H.さんは、アパレル店でお仕事をされています。

『社会人になった自分』 Y.H.さん

セミナーで話すことになって、自分が経験を伝える時が来たんだなと思いました。話しながら、通っていた頃のことや面接を受けた時のことや、今は仕事に行くのが当たり前になっていますが、当時は就職に不安を持っていたことを思い出しました。

思い返すと、働き始めは小さな失敗を引きずっていましたが、仕事に慣れていくうちに失敗は取り返せることに気付いて、今では気持ちの切り替えが自然と出来るようになっていきます。今では働くことが当たり前になっていますが、皆さんの前で話して、入社当時の気持ちに戻れました。改めて職場に感謝して、働いていることのすこさを感じています。今回のセミナーで、ちょっとでも貢献出来ていたら嬉しいです。

『働きたいから、就職活動のサポートをしてほしい』
『就労移行支援事業所って、どんなサポートをしてくれるの?』

と思っておられる方に、見学会を開催しています。
見学するだけでも、もちろんOKです。
まずは、そらいろまでお問い合わせください☆

見学会のお知らせ

賛助会員の皆様（敬称略・順不同）

- ・ふじたみつえクリニック
- ・ねこのて訪問看護ステーション
- ・中田真理子 ・寺西大祐

【8名（掲載辞退4名）】

（平成31年4月～令和元年9月）

ありがとうございました。

編集後記

今回も、たくさんの方にご協力戴いて、『ひこうきぐも』を無事に発行することができました。そらいろの活動では、就職するために様々なチャレンジをしていきますが、就職してからもチャレンジをする時がやってきます。悩みや不安の乗り越え方や乗り越えるまでの時間は人それぞれあります。良い結果は嬉しいですが、結果だけでなくプロセスを大切に、大胆に大事にチャレンジしていきたいと思えます。
(スタッフ 福本匡史)

特定非営利活動法人 色
就労支援センターそらいろ

(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町 11-5
TEL&FAX : (075)841-5111
E-mail : sorairokyoto@gmail.com
U R L : http://sorairo-k.jimdo.com

